

令和4年12月 定例教育委員会会議録

開 催 日	令和4年12月21日(水)
開 催 場 所	半田市役所 会議室 402
出 席 委 員	教 育 長 鈴 川 慶 光 委 員 桂 優 子 委 員 久 米 宏 和 委 員 正 村 日 登 美 委 員 堀 崎 隆 資
説 明 の た め 出 席 し た 職 員	教 育 部 長 岩 橋 平 武 学 校 教 育 課 長 森 田 知 幸 主 任 指 導 主 事 鈴 木 康 弘 指 導 主 事 高 下 隆 史 給 食 セ ン タ ー 所 長 前 田 成 久 ス ポ ー ツ 課 長 加 藤 計 志 ス ポ ー ツ 課 主 幹 長 坂 壮 浩 図 書 館 長 山 下 由 美 博 物 館 長 関 正 樹 南 吉 記 念 館 長 遠 山 光 嗣
事 務 局	学 校 教 育 課 総 務 担 当 副 主 幹 渡 辺 富 之
報 告 事 項	(1) 令和4年12月半田市議会定例会の報告について (2) 寄附、後援願等について (3) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について (4) 部活動改革に向けてのアンケート結果について (5) 令和5年度半田空の科学館・半田市体育館の臨時開館・臨時休館について (6) スポーツフェスタ2023の開催について (7) 愛知万博メモリアル第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会の開催について (8) 令和5年度半田福祉ふれあいプール及び青山記念武道館の臨時開館・臨時休館日について (9) 古文書講座「江戸時代の庄屋の仕事」について (10) 第34回新美南吉童話賞の選考結果について (11) ストップモーションアニメーション「ごん」の上映について (12) 「ごんぎつね」朗読リレーの参加者募集について (13) 各種事業について ① 第34回半田市公民館・区民館クラブ発表会について ② プラハ・チェロ・リパブリック半田公演について ③ 「大人のための図書館・博物館探検ツアー」について ④ 「図書館で読み聞かせ体験をしませんか？」の開催について ⑤ 亀崎図書館「オタツシャ音読教室 & 折り紙～2023 如月～」について
各課事務連絡	市内小中学校の展覧会の開催予定について 文化財防火デーにおける消防訓練について

〈 開会 10時00分 〉

<p>1. 前会の会議録の承認</p>	<p>(事務局) 11 月定例会の会議録について概要説明 → 承認</p>
<p>2. 教育長報告</p>	<p>(教育長) 新型コロナウイルス感染症の陽性者は増加傾向にあるため、冬休みに入り、どのような状況になるか心配している。 11 月 26 日、子ども食堂を見学したが、約 30 人の子どもたちが、学習支援も含め仕事をしたり、楽しく過ごしていた。学校運営協議会が中心になって開催しているが、このような活動が広がっていくと良いと感じた。 また、青山公民館で開催している子ども食堂については、学校運営協議会ではないが、地域を盛り上げるイベント活動をしており、子どもたちもたくさん参加していた。 学校運営協議会が、小学校区を中心とした地区の活性化の中心になると良いと感じた。 半田市内の高校（5 校）が中心になり、半田市キャリアディを、中学生を対象に開催した。これは、生徒たちが自分の学校の P R 等を中学生向けにやっているが、半田市キャリア教育を進めていく中で、こういった活動も継続してやっていけると良い。 ビーナスルームや学童の見学をしたが、子どもたち一人一人が自分の特性を生かせるよう学校での教育活動を支援していくことが大切だと感じた。</p>
<p>報告事項 1) 令和 4 年 12 月半田市議会定例会の報告について</p>	<p>(教育部長) 12 月市議会定例会において、一般質問された議員 6 名のうち、4 名が教育委員会に関するもので、質疑等は以下のとおり。 会派：無所属 議員：鈴木健一 主題：学校給食費の在り方について 要旨：愛知県下で徐々に無料化が広がっている現状を踏まえて 質問：無償化についての見解 答弁：学校給食費は、学校給食法第 11 条第 2 項の規定により、食材費など、施設費や設備費、運営費以外のものは保護者負担と定められてる。 しかしながら、昨今の物価高騰への対策として、「地方創生臨時交付金を活用した保護者負担の軽減に努めるように」との国からの通知を受け、本市では、食材費の増額を予算化し、保護者負担の軽減に努めている。また、支援の必要な家庭には給食費を全額補助している。 現在のところ、学校給食費の無償化を実施する考えはないが、県内市町の動向も参考としつつ、今後も良質で安価な食材の購入を心掛け、安心・安全でおいしい学校給食の提供に努めていく。 会派：チャレンジはんだ 議員：伊藤正興 主題：e スポーツへの取り組みについて 要旨 1：e スポーツとリアルスポーツについて 質問①：e スポーツをスポーツとしてどのように捉えているか</p>

答 弁：スポーツ基本法において、スポーツは、「心身の健全な発達、健康、及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心、その他の精神の涵養等のために、個人又は集団で行われる運動競技、その他の身体活動」と定義されている。一方、eスポーツは、「コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦を、スポーツ競技として捉える際の名称」である。

国内外でのeスポーツに対する考え方の変化や、各種大会の開催等に見られるeスポーツの人気は認識しているが、現在の当市におけるスポーツ振興に照らした場合、身体活動の度合いが少ないeスポーツを、リアルなスポーツとしては考えていない。

質問②：今後、スポーツとしてのeスポーツにどのように取り組んでいくか

質問③：半田市でのeスポーツ大会開催は

答 弁：（質問②、質問③一括答弁）

現段階では、eスポーツをスポーツとして扱う取り組みやeスポーツの大会を開催することは考えてないが、リアルスポーツに近い形で捉えられ、健康及び体力の保持増進に結び付くものや、運動競技その他の身体活動を促すことができるようなものがあれば、導入の可否も含め、調査研究していく。

要旨2：中学校におけるeスポーツの活用について

質問①：eスポーツによる不登校支援

答 弁：不登校児童生徒の中には昼夜逆転の生活に陥っている子、ゲーム依存により基本的な生活習慣が乱れている子などもある。また、オンラインゲーム内での生徒間トラブルが、実際の学校生活に影響を与えているケースもある。

不登校対策としてのeスポーツの活用は、登校の一助となる可能性がある一方で、生活習慣の乱れによる新たな不登校を生み出す原因となることも危惧される。

不登校支援として、eスポーツを一律に活用していく考えはないが、個々の児童生徒の実態を把握していく中で、eスポーツが支援のきっかけになるようであれば活用していく。

質問②：部活動としてのeスポーツの考え

質問③：部活動においてeスポーツ部創設の要望があった場合の対応

答 弁：（質問②、質問③一括答弁）

部活動でどのような種目を取り扱うかについては、生徒数、教員数、施設設備、生徒のニーズ、過去の実績など、様々なことを考慮しながら各学校で決定していくことであり、市として対応することはない。

eスポーツ部の創設の要望があった場合には、各学校において十分協議した上で、新たな部として創設するかどうかを決定していく。

会派：創造みらい半田 議員：岩田玲子

主 題：学校におけるエアコン設置について

要旨 1：体育館のエアコン設置について

質問①：小中学校体育館のエアコンについてどう考えているか

答 弁：体育館は子どもたちの学校活動での利用に加え、地域の活動や、災害時の避難所としての役割を担っていること、また、近年、熱中症対策が重要な課題になっていることなどから、必要だと考えている。

質問②：全校の体育館にエアコンが整備される時期は

答 弁：現在、子どもたちの安全安心を最優先に、校舎の建替えなどの環境改善を進めているところであり、体育館へのエアコン整備は、この校舎の建替えなど、公共施設の更新計画に合わせて行っていく計画である。今は各学校の建替えの時期を検討しているところであるため、全校の体育館にエアコンを整備完了する具体的な時期は未定。

質問③：知多管内の市の設置状況は

答 弁：大府市は、令和 4 年度をもって市内全小中学校のエアコン整備が完了。東海市は、今年度から 1 年に 2 校ずつの整備を始めており、令和 6 年度には全 6 中学校に設置される。知多市は令和 6 年度に 2 校設置し、その後は、市内全 5 中学校に順次、整備を進める。常滑市は検討中。

質問④：L P ガスを使った機器の導入及び補助金の活用は

答 弁：体育館は災害時の避難所としての役割を担っていることから、エアコンも、災害時に強い L P ガスを動力とする機器を考えている。補助金については既に導入している他市町の状況なども参考に活用していく。

要旨 2：特別教室におけるエアコン設置について

質 問：特別教室のエアコンの進捗状況は

答 弁：今年度中に、現在建替え中の乙川中学校の旧校舎から移設したものを設置し、令和 5 年度から 7 年度には、建替え予定の亀崎小学校から移設するエアコンに加え、新たな機器を追加購入して設置していく。

各学校からの要望や使用頻度に応じて設置していく方針で、音楽室、理科室、家庭科室など、とくに使用頻度が高い教室には令和 7 年度に整備が完了する。

会派：公明党 議員：坂井美穂

主 題：子宮頸がん予防接種（H P V ワクチン）の積極的勧奨について

要 旨：一人でも多くの対象者が接種できるように

質 問：学校でのがん教育で「子宮頸がん」について学ぶべきではないか

答 弁：中学校 2 年生の保健体育の時間に、「がん」についての理解と予防を狙い

	<p>とした授業を行っており、子宮頸がんもその中で取り扱っている。また、本年度から、がんと向き合う人への共感と理解を深めること、自他の健康と命の大切さに気づき共生について考えることを目的に、医療従事者による「がん教育」を始めた。本年度は、青中と亀中の 2 校で実施したが、来年度からは全中学校で実施する計画。今後も子宮頸がん予防の周知を含め、がん教育の充実を図っていく。</p>
2) 寄附、後援願について	<p>(学校教育課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 団体より寄附。 (内訳：演題・樹木 (ヒラドツツジ)、現金) ・ 1 件の共催事業を許可。 ・ 1 1 件の後援名義を許可。
3) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について	<p>(指導主事)</p> <p>令和 4 年 11 月 19 日～12 月 19 日の交通事故・問題行動等について。</p> <p>交通事故：5 件</p> <ul style="list-style-type: none"> 12 月 6 日 (火) 1 件 12 月 8 日 (木) 1 件 12 月 12 日 (月) 1 件 12 月 13 日 (火) 1 件 12 月 14 日 (水) 1 件 <p>問題行動 (被害) 等：1 件</p> <p>12 月 15 日 (木)</p> <p>交通事故以外の事故： 4 件</p> <ul style="list-style-type: none"> 11 月 29 日 (火) 1 件 12 月 2 日 (金) 1 件 12 月 5 日 (月) 1 件 12 月 19 日 (月) 1 件 <p>学校等被害：なし</p> <p>不審者情報：4 件</p> <ul style="list-style-type: none"> 12 月 3 日 (土) 1 件 12 月 15 日 (木) 2 件 12 月 16 日 (金) 1 件
4) 部活動改革に向けてのアンケート結果について	<p>(指導主事)</p> <p>半田市の部活動改革の基本方針は、令和 6 年度から部活動ガイドラインを変更し、中学校部活動は平日のみとし、土日祝日には子どもたちは自らの興味関心に基づいて、希望する子どもたちは、地域でのスポーツ活動・文化芸術活動に参加するという形である。</p> <p>先回も伝えたように、地域での活動の体制強化に向け、スポーツ課や生涯学習課と連携しながら、関係団体と協議をすすめているところ。</p> <p>この度、10 月 21 日から 11 月 2 日までの期間、地域での活動体制の整備に向け</p>

て、設置してほしい種目や活動時間、受益者負担についてなど子どもたちや保護者のニーズを把握するため、アンケートを実施しその結果をまとめた。

調査対象は、小学校 5 年から中学校 3 年までの児童生徒とその保護者、中学校の先生方である。

保護者の回答率は 53%、児童生徒の回答率は 72%（なお、小中学生については、感染症の影響もあり、回答期間を 11 月 25 日まで延長）、教職員の回答率は 123%。

教職員の回答率が 100%を超えているのは、小学校もふくめ、全教職員のタブレットにアンケートのショートカットアイコンが表示され、一部小学校の先生が回答したため。

特段すべき結果について以下のとおり。

土日の地域での活動に対し、子どもを参加させたい・させたくないで、70%の保護者がさせたいと答えたのに対し、同様の質問に対する児童生徒の回答としては、ほぼ半数に回答が分かれており、保護者と子どもたちの考え方に差がある結果となった。

同様の傾向は、活動頻度や活動時間に対する回答にも見られ、子どもより保護者の方が高い頻度で、長い時間の活動を望んでいることが分かった。

保護者に対しての受益者負担についての設問で、無料を望む保護者は 12%にとどまり 1,000 円から 3,000 円を合わせると約 80%という結果であった。ある程度の受益者負担について保護者も理解していることが分かった。

教職員へのアンケート結果について、土日の地域での活動に指導者として参加したいと答えた教職員は、回答者の 14%。また、参加したいと回答した先生方の謝金に対する回答では、特業手当以上の金額を望まれていることが分かった。

本回答については、教職員の結果以外は、児童生徒および保護者に紹介済みで、学校教育課のHPにも掲載している。（教職員アンケートの結果は数字が独り歩きする可能性を鑑み、関係者のみで共有）

また、全結果について連名で実施した市P連また、スポーツ課、生涯学習課を通して関係団体とも共有し、今後の部活動改革の検討に活用していく。

今後は、改革の全体像について、今年度中にロードマップを作成し、1 月 2 月の校長会で提示した後、来年度当初に児童生徒保護者に提示する予定。

（桂委員）

中学校で部活動は必ず入るのか、選択制なのか？

（指導主事）

基本は選択制である。

（桂委員）

選択制の場合、まったく部活動をしない子はどれぐらいいるか。

(指導主事)

学校によると思うが、部活動をしない子の中でも、外部のクラブチーム等に入っているケースもある。まったく何もしていない生徒数がどれくらいかは把握できていない。

(久米委員)

地域での部活動に参加したい教職員が望む謝金について、先ほど説明があったが、現在の土日の部活動に伴う特業手当はどのようなものか。

(指導主事)

愛知県の教員特殊業務手当は、校内部活動指導料（3時間45分程度以上から1日につき）月2,700円、対外運動競技引率（7時間45分程度以上1日につき）5,100円である。

(学校教育課長)

基本的に教員特殊業務手当は愛知県から手当として出るもの。

しかし、これを地域の部活動で実施する場合、財源はスポーツクラブが持つことになり、クラブによっては支出できないケースもある。

過去に「総合型地域スポーツクラブ」を設立したが、結果的に半田市の教員は土日の教員特殊業務手当をもらえずに無料で指導していた経緯があった。

このことを踏まえ、今回、地域の部活動でやるとしたら、どれくらい欲しいかというアンケートを行った。

現在の土日は、中学校の部活動として位置付けているため、教員特殊業務手当がおおむね出ている。

(教育部長)

市議会文教厚生委員会は、令和4年度の調査事項として「今後の部活動のあり方」について研究してきた。その結果が12月定例会において報告されたので、その概略について報告書により紹介する。

「報告書」

これまで、学校部活動は、教員の献身的な勤務により成り立ってきた。しかし、近年では、教員が未経験の部活動を指導せざるを得ないことや、休日にも指導が求められるなど、教員にとって大きな負担となっている。

国は、令和2年に「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」についてガイドラインを作成し、令和5年度から休日の部活動を段階的に地域へ移行し、地域の人材が担うことで教員は休日の部活動に従事しないこととした。

半田市においては、平成14年に半田市スポーツ振興計画を策定し、「原則、部活動は土日祝日には行わず、中学生がスポーツをする場合は、地域のスポーツクラブで活動すること」と定め、それに合わせて全ての中学校区に「総合型地域スポーツクラブ」を設立した。しかし、指導者の確保や財源、また、大会の参加資格等の課題があり、平成24年には、各学校長の判断によって土日祝日の部活動を再開できることになった。

学校部活動は市民にとって馴染み深いものであり、「部活動に代わる受け皿はどうか」、「教員に代わる指導者はどのように確保するのか」、「学校施設を利用していた部活動は、地域移行後はどこで実施するのか」など課題が多い。

このような状況を踏まえ、市内 5 スポーツクラブ、日本福祉大学スポーツ科学部、及び、スポーツ庁職員などと意見交換を行うとともに、先進地として春日井市、豊田市、岐阜県羽島市、茨城県つくば市、静岡県焼津市を視察し、各市の取り組み状況を調査した。

それらを踏まえ、文教厚生委員会として次のとおり提言する。

① 指導者の人材確保

今年度から日本福祉大学と実施している「指導者派遣委託事業」と、市が従来から行っている「スポーツアシスタント登録制度」を有効活用し、人材バンクとしての拡充を検討すること。

② 地域移行の受け皿

市内 5 つのスポーツクラブは部活動の受け皿として適切だが、組織の規模や運営方法に大きな差があるため組織力の格差を是正する必要がある。令和 5 年度にも、専任のコーディネーターを配置することで、各クラブの体制整備や活動の質を確保するとともに法人格の取得も目指すこと。また、要保護・準要保護世帯への配慮を行ったうえで受益者負担も考えるなど、持続可能な組織となるよう体制を整備すること。

③ 地域移行のスケジュール

成岩地区のように基盤が安定した地域については、令和 5 年度にも試行的にスタートし、他地区のモデルになるよう働きかけていくこと。令和 7 年度には全中学校区で土日の部活動の地域移行が実施できるよう早急に具体的な計画を立てること。

④ 市及び教育委員会の役割

生徒児童を始め、保護者や地域に混乱が生じないよう、市としての方針や移行方法を丁寧に説明すること。また、放課後の学校施設や公共施設については、民間事業者や NPO などの利用を可能にする必要があるが、これまでの利用者に弊害がでないよう進めること。そして、市が主体的に国、県、スポーツクラブ、市内企業、地域住民との連携を図り、主役となる生徒がスポーツ、文化活動を継続的に行うことができるよう努めることを提言する。

最後に、目指す姿として、市内の 5 スポーツクラブが基盤となり、子どもから高齢者までの全ての住民が、様々なスポーツや文化活動に携わることができる環境が継続していくこと。加えて、学校施設が、土日に限らず放課後の児童生徒の居場所としてクラブ活動や学習をする場所となること。

さらには、各学校で活動する吹奏楽部や合唱部の生徒が雁宿ホールなどへ集い、文化協会、ジュニアプラスバンド、セントラル愛知交響楽団、少年少女合唱団などから指導を受けたり、各学校単位では行えないニュースポーツやヨットなどに参加したりするための「市内全域でワンチームとしての活動」などの理想を掲げ、令和 4 年度文教厚生委員会閉会中の調査テーマの中間報告とする。

「報告書」による提言を受け、教育委員会としては、令和 7 年までに全中学校の土日祝日の部活動を学校の業務から完全に切り離せるよう、来年度より山積している課

	<p>題の解決に向けて取り組んでいく。</p> <p>(堀崎委員) 解決すべき課題は多く大変だとは思いますが頑張ってもらいたい。</p> <p>(正村委員) 各スポーツクラブはこれまで、地域の実情に合わせた人員配置など、独自の運営をしてきた経緯があり、経営面においても財政的な体力の違いがある中で、どのように進めていく予定か。</p> <p>(教育部長) 全スポーツクラブが一斉に統一的な運用ができることが望ましいが、5つのスポーツクラブの経営状況などを考慮すると段階的な改革が必要と考えており、まずは成岩スポーツクラブを除く4クラブに対し半田市としてのグラウンドデザインを示していきたい。</p>
<p>5) 令和5年度半田空の科学館・半田市体育館の臨時開館・臨時休館について</p>	<p>(教育部長) 半田空の科学館・体育館は、半田空の科学館条例施行規則及び半田市体育施設条例施行規則により、年末年始、及び、毎週月曜日を休館日として定めているが、令和5年度は、「項番1」及び「項番2」に記載の日を臨時開館する。一方、「項番3」に記載の2日間を臨時休館する。</p> <p>臨時開館は、学校の長期休業に合わせた特別開館と、体育館利用者に対する利用機会の拡大を目的とした開館で、臨時休館は、施設・設備の集中的なメンテナンスを行うための休館日。</p> <p>なお、「項番4」に記載のとおり、これらにかかる経費の増減につきましては、指定管理料の範囲内で対応し、「項番5」利用者への周知は、はんだ市報、ホームページ、館内の掲示等で行うこととする。</p>
<p>6) スポーツフェスタ2023の開催について</p>	<p>(総務課長) スポーツフェスタ2023について、この事業はニュースポーツの普及やスポーツの拡大を目的にスポーツ推進委員会を中心に毎年行っている。</p> <p>2月11日(土)乙川中学校の体育館で行う、新型コロナウイルスの影響で3年ぶりに開催される。</p> <p>午前は、主にニュースポーツラリーとして、7種類のニュースポーツを体験していただく。 (参加料無料、申込不要)</p> <p>午後は、ミニテニス大会を実施する予定。(参加料無料、事前申込必要)</p> <p>本事業について、半田市報、ホームページ、チラシで周知する。</p> <p>3年ぶりの開催ということで、盛り上げていきたいと考えている。</p>

<p>7) 愛知万博メモリアル第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会の開催について</p>	<p>(スポーツ課長)</p> <p>愛知万博メモリアル第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会が、令和5年1月14日(土)に3年ぶりに開催される。</p> <p>愛地球博記念公園(通称モリコロパーク)の公園内を、それぞれ距離に応じて走る駅伝競走大会で半田市の代表選手が資料名簿のとおり、小学生の中から40歳以上の一般まで9区の区間で合計30.6キロを走ることになる。</p> <p>ベストテンまでは行ってないが、今年は3年ぶりということで、練習期間も長く設けられたため期待をしている。時間があつたら、モリコロパークまで来ていただき応援願いたい。</p>
<p>8) 令和5年度半田福祉ふれあいプール及び青山記念武道館の臨時開館・臨時休館日について</p>	<p>(スポーツ課長)</p> <p>令和5年度半田福祉ふれあいプール及び青山記念武道館理事会館臨時休館について、こちらのスポーツ施設は、半田市体育施設条例施行規則に基づいて、年末年始と毎週月曜日が休館日になっている。</p> <p>ふれあいプールについては、夏休み期間中の月曜日の特別開館を実施するもの。</p> <p>また臨時休館については、水の換水及び点検等のメンテナンスにより、令和5年10月16日から10月31日までの約2週間、休館日を設けて点検を行うことを予定している。</p> <p>こちらの臨時開館臨時休館の経費については、科学館同様、指定管理料の中の範囲で対応する。利用者への周知は、市報、ホームページ、館内掲示を行う予定。</p> <p>青山記念武道館の臨時開館、臨時休館日について、こちらと同じく市の体育施設条例により、年末年始、同週月曜日が休館日で指定されている。</p> <p>こちらの臨時開館は、指定管理業者のほうから、施設の積極活動活用に有効利用したいということで、ほぼ毎週開館し、年末年始を除いて開館をする形になる。</p> <p>青山記念武道館についても開館に伴う経費は、指定管理料の中で対応し、周知は、市ホームページ、館内表示で案内予定。</p> <p>(正村委員)</p> <p>青山記念武道館の部屋の使用に関するルールについて、コロナ禍の影響もあったと思うが厳しくなったと感じている。会館の運営会社が変わったか。</p> <p>(スポーツ課主幹)</p> <p>令和4年4月より指定管理者は変更している。</p> <p>(正村委員)</p> <p>具体的には和室の利用に際しテーブル下にシートを敷くよう案内があるが、シートが重く高齢者の方たちの利用に支障がでている。</p> <p>(スポーツ課長)</p> <p>使用される団体に合わせた運用を行うよう、スポーツ課より指定管理者へ指導する。今後も利用に際し支障がでるようなことがあれば、スポーツ課へ相談いただきたい。</p>

<p>9) 古文書講座 「江戸時代の庄屋の仕事」について</p>	<p>(博物館長)</p> <p>この講座は、博物館の古文書解読作業の成果を市民の皆さんに分かりやすくお知らせするために、解読を担当している博物館専門員が講師となり、講座として毎年開催しているものである。</p> <p>今回は、当館の収蔵資料である乙川文書や西成岩文書等から、お触書やお達書など庄屋の仕事にかかわる文書を取り上げ、古文書の読み解きを通じて、江戸時代における半田の人々の生活の実像に迫る。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、密を避け、換気のできる第1会議室で午前1回、午後1回の計2回、定員を各回30名で開催する。</p>
<p>10) 第34回新美南吉童話賞の選考結果について</p>	<p>(南吉記念館長)</p> <p>第34回新美南吉童話賞の入賞作品が決まった。</p> <p>今回の総応募数は1841編で、1800編の前回より若干増加している。</p> <p>内訳では一般の部が減少し、逆に中学生、小学生、オマージュ部門で伸びている。</p> <p>受賞作品について、最優秀賞は、伊藤葎花(りつか)さんの「きつねのお母さん」。</p> <p>この作品はオマージュ部門に応募されたものだが、応募作全体の中でもっとも優秀だということで最優秀賞になった。もともと最優秀賞は自由創作部門とオマージュ部門どちらから選出してもよいことになっていたが、実際にオマージュ部門への応募作が最優秀になるのは今回が初めてである。</p> <p>半田市内からの受賞は、小学生高学年の部に板山小学校4年生の辻小春さんが入賞。板山小学校は昨年小学生高学年の部で入賞しているので2年連続となる。</p> <p>表彰式は2月18日にクラシティホールで行う。本来、教育委員の皆様には列席賜るところだが、感染対策として参加人数を抑えるため、今年も案内はしないが、後日、入選作品集をお届けする</p>
<p>11) ストップモーションアニメーション「ごん」の上映について</p>	<p>(南吉記念館長)</p> <p>1月4日の生誕110年開幕祭については、先回の定例教育委員会で案内したが、同じ日1月4日から令和6年3月10日まで、新美南吉記念館ではストップモーションアニメ「ごん」を特別上映する。人形を少しずつ動かしてコマ撮りするストップモーションアニメの手法で撮影された28分間の作品で、令和元年の公開以来、チラシにも書いている通り、国内外の映画祭で受賞。新美南吉生誕110年の来年、記念館では上映権を買い、毎日ビデオシアターで上映する。</p> <p>これに合わせて記念館では4月9日まで、作品の撮影に使用された人形や小道具、絵コンテなど関連の資料を一堂に展示する企画展を開催。作品と展示合わせてご覧いただくと、一層作品の世界に浸ることができる。</p> <p>記念館としては、ごんを一人でも多くの市民に見ていただくために、ご覧の家族招待券付きチラシを作り、学校を通じて市内の全小中学生に配布する。</p> <p>来られない子どもについては、学校でも上映会をしていただくためDVDの貸し出しを</p>

	<p>行う。すでに複数の学校から申し込みをいただいているが、これを広げていきたいと考えている。</p>
<p>12) 「ごんぎつね」朗読リレーの参加者募集について</p>	<p>(南吉記念館長)</p> <p>新美南吉の110回目の誕生日である来年7月30日、生誕110年におけるメイン事業として、子どもたちによる「ごんぎつね」の朗読会を行う。</p> <p>「ごんぎつね」を24のパートに分け、それぞれ担当する子どもの朗読をリレー式につなぐもので、出演する24人を広く市内の小学生から募る。</p> <p>いま、自分の思っていることをうまく言葉で表現し、相手に伝えることが苦手な子どもが増えているが、これは普段接する大人が、言葉を尽くさなくてもわかってくれる両親や学校の先生だけだったり、子ども同士でも語彙の豊富な上級生やわかりやすく話してやらないといけない下級生といった異年齢の子どもとの付き合いが減っているために、子どもの言葉が発達する機会が減っていることが一因だと考える。</p> <p>この朗読会では、学年の異なる子どもたちが集まり、指導役の先生や朗読グループの大人たちともいっぱい話をしながら「ごんぎつね」の朗読に取り組むことで、朗読の技術ではなく、言葉の力そのものを育むことを目指す。</p> <p>この理念に基づいて指導の中心になってくださるのは、NHKの元アナウンサーで朗読家の山根基世さん。女性で初めてNHKのアナウンス室長を務めた方で、NHKのドキュメンタリー番組「映像の世紀」シリーズや民放ドラマ「半沢直樹」のナレーションでも知られている。この山根さんが何度も半田を訪れ指導にあたり、それを地元の読み聞かせグループ「でんでんむし」のメンバーがサポートすることで、子どもの朗読指導者としてのグループの成長も図る。</p> <p>7月30日の発表会では、山根さんや同じNHKアナウンサーだった松平定知さんによる南吉作品の朗読や音楽の演奏も併せて楽しめるステージにする。</p> <p>応募できるのは、市内在住の現在2～5年生の小学生で、応募多数の場合は抽選。このチラシは市内小学校の協力で対象の児童全員に配布される。</p> <p>4か月何度も練習に参加する必要があるが、参加した子どもたちにとっては、とてもいい経験になる。</p> <p>ぜひ、意欲のあるお子さんにたくさん応募してもらえよう、委員の皆様も紹介いただきたい。</p> <p>なお、子どもたちの朗読は、発表会終了後にあらためて収録し、その音源を使った「ごんぎつね」の動画を作る予定で、これを来年度のストップモーションアニメごんの上映が終わった後、南吉記念館のビデオシアターで常時上映することになっている。</p> <p>(正村委員)</p> <p>10年前にも行った同企画に触れ、とても感銘を受けた。</p> <p>講師の山根氏の話し方や間の取り方、楽しい空間の作り方などは、学校の先生方にも是非取り入れてもらいたい。</p>

	<p>(南吉記念館館長)</p> <p>10年前当時も教員向けのレクチャーを行った記憶がある。</p> <p>学校行事など確認するなかで、学校教育課と調整を図っていきたい。</p>
<p>13) 各種事業について</p> <p>① 第34回半田市公民館・区民館クラブ発表会について</p>	<p>(教育部長)</p> <p>令和5年2月19日(日)に、雁宿ホール大ホールにおいて、第34回半田市公民館・区民館クラブ発表会を開催する。</p> <p>一昨年は大ホールの舞台改修で、昨年は新型コロナの影響で開催できなかったため3年ぶりの開催となる。</p> <p>岩滑を除く13地区公民館と中央公民館、及び、瑞穂区と鴉根区が参加する。</p> <p>また、スペシャルゲストとしてセントラル愛知交響楽団による演奏等もあるので、委員の皆様も、ぜひ鑑賞いただきたい。</p>
<p>② プラハ・チェロ・リパブリック半田公演について</p>	<p>(教育部長)</p> <p>「プラハ・チェロ・リパブリック」は、動画「オペラ座の怪人」がYouTube再生回数3,000万回を突破するなど、世界の注目を集めた「プラハ・チェロ・カルテット」のメンバーを中心に結成された新生チェロ四重奏団。</p> <p>今回の公演は沖縄・東京・京都など日本各地をまわるツアーの一環で、半田市で「世界最高レベルの音楽」を体感できるチャンスである。令和5年2月26日(日)の15時開演で、チケットは12月24日(土)から、雁宿ホールのほか、チケットぴあで販売。誘いあわせのうえ、是非、来場いただきたい。</p>
<p>③「大人のための図書館・博物館探検ツアー」について</p>	<p>(図書館長)</p> <p>図書館・博物館の共催事業で、ふだんは入れない図書館の閉架書庫や、博物館の収蔵庫を見学する企画。例年は小学生以上を対象としているが、今回は中学生以上を対象とした少し大人向けのもの。1月22日(日)午後2時から、定員は20名。1月9日(祝・火)から申し込みを受け付ける。</p>
<p>④「図書館で読み聞かせ体験をしませんか？」の開催について</p>	<p>(図書館長)</p> <p>図書館の読み聞かせボランティア「きりんの会」と「あんころもち」の合同企画。</p> <p>1月28日(土)午後1時30分から本館2階の会議室で、ボランティアから「読み聞かせ」の基本を教わり、後日、定例の読み聞かせ会に読み手として参加していただく。定員10名で、1月11日(水)から21日(土)まで申し込みを受け付ける。</p>
<p>⑤ 亀崎図書館「オタツシャ音読教室&折り紙〜2023如月〜」について</p>	<p>(図書館長)</p> <p>2月17日(金)午前10時30分から、亀崎公民館会議室にて「オタツシャ音読教室&折り紙 2023如月」を開催。60歳以上の方を対象に、季節に合った作品や南吉作品などをテキストに音読をし、折り紙を楽しんでいただくもの。定員は8名で1月24日(火)10時から申し込みを受け付ける。</p>

<p>各課事務連絡 市内小中学校の 展覧会の開催 予定について</p>	<p>(博物館長)</p> <p>1月13日(金)から2月22日(水)までの間、市内小・中学校の児童生徒による作品展を順次開催する。</p> <p>1月13日(金)から、1月24日(火)までは、市内小中学校の特別支援学級及び特別支援学校の児童生徒による作品展「第51回半田さわやか教育展」を開催。</p> <p>1月25日(水)から、2月3日(金)までは「半田市小中学校書写展」、2月4日(土)から、2月10日(金)までは「第38回半田市中学校美術部展」、2月11日(土)から、2月22日(水)までは、市内小中学校の児童生徒が制作した絵画や工作を展示する「第38回半田市造形教育展」を開催。</p> <p>いずれも児童生徒の力作を展示してまいりますので、委員の皆様もぜひお越しいたきたい。なお、各展示の最終日は、作品の片付けと、次の展示準備のため、午前中までの開催となる。</p>
<p>文化財防火デー における消防訓練 について</p>	<p>(博物館長)</p> <p>昭和24年1月26日に法隆寺金堂が炎上し壁画が焼損したことを受け、1月26日は「文化財防火デー」に定められている。文化財を火災や震災などの災害から守るとともに、全国的に文化財防火運動を展開し、文化財愛護に関する意識の高揚を図るとともに、訓練を通じ、文化財の防火対策について、認識を新たにする機会となっている。</p> <p>半田市でも、毎年、1月26日に、市内重要文化財において消防部局と文化財部局、文化財所有者が連携し訓練を実施。</p> <p>今回の訓練は、重要無形民俗文化財の「亀崎潮干祭の山車行事」を守る訓練を、中切組様を中心に行う。</p> <p>これまでは、曜日にかかわらず1月26日の「文化財防火デー」当日に実施していたが、今回の訓練では、参加者の集まりやすい1月22日(土)に実施する。</p>
<p>委員からの意見 提言等</p>	<p>(主任指導主事)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 愛知県教育委員会が教職員表彰について 成岩中学校の学校事務、主査の寺澤さんが受賞 2 半田中学校が今年度取り組んでいるレインボープロジェクトLGBTQについて、啓発のためグッズ(ポスター、クリアファイル、車に張るマグネット等)の作成にあたり教育長への報告 3 乙川小学校150周年の児童の取り組みとして、地元和菓子店とのコラボ企画として児童考案の和菓子を年明けより販売される 4 生徒会サミットを本年度は議場を使って開催する 5 雁宿小学校3年生の総合的な学習のなかで、地元の名産である「酢」について学び、まとめた成果資料がミツカンミュージアムに展示されることになった

(学校教育課長)

半田市へのふるさと納税に関する新しい取組みについて、市内市外在住者それぞれの方向けのパンフレットを作製した。学校を個別に応援できる当寄附制度が広まるよう関係者のみなさんの協力をお願いしたい。

(久米委員)

・eスポーツについて

他市では行政と絡んでいるが、半田市も同様に絡んでいけるとよいのではないか。

・制服について

製造会社から製造が間に合わないとの情報だが、納入は大丈夫か。半田市としてフォローできることはないか。

(学校教育課長)

制服に関して、今のところ間に合わないという情報はない。

(桂委員)

・学校の図書ボランティアの活用について

新美南吉の生誕 110 年の P R について、学校の図書ボランティアに働きかけてはどうか。

図書ボランティアに従事していた時、新型コロナウイルス感染症の影響で読み聞かせ等ができなくなったが、その中で何ができるか意見を出し合い、新美南吉の塗り絵やクイズなど募集し様々な取り組みを行った。子どもたちの反応がよく、やりがいになったため、図書ボランティアに働きかけることで、様々なことを考えて取り組みをしてもらえるのではないか。また、子どもたちにも新美南吉生誕 110 周年ということが広がり良い効果につながるのではないか。

(南吉記念館長)

ありがたいお話しなので、学校や学校教育課と調整し進めていきたい。

(教育長)

各学校のボランティアや校長会等でも新美南吉生誕 110 周年について周知する。

(主任指導主事)

半田市の幸せ教育(案)について

委員から意見をいただき反映した内容について、令和 5 年 1 月の校長会議で報告。資料のとおり、各取組み内容については、来年度の教育課程・教育計画の中に入れていただくようお願いをする。

校長会までになにかあったらご意見いただきたい。

	<p>(堀崎委員)</p> <p>教科指導員の増員はハードルが高いが、相談員の増員をしてほしい。</p> <p>特別支援教育相談員という名称のため、特別支援が中心になり、通常学級が見られない現状である。通常学級にも相談員として関わる必要があり、特に中学校に人材が不足している。</p> <p>(正村委員)</p> <p>子ども食堂に参加をし、S S W（スクールソーシャルワーカー）に会ったが、とても大変そうと感じた。</p> <p>C S W（コミュニティソーシャルワーカー）がS S Wを兼ねると、子どもが関われない等の話を聞く。子どもに関わる人たちの意見交換の場や、子どもを中心とした関係者同士の連携が必要ではないか。</p> <p>また、S S Wの存在を知るためP Rが必要だと感じた。</p> <p>(主任指導主事)</p> <p>S S WとC S Wは日頃から連携をとっている。中学校現場にも入っており、さらに連携が深まれば良いと思う。積極的に周知を行っていきたい。</p>
<p>次回開催等</p>	<p>(事務局)</p> <p>1月定例教育委員会 日時：1月25日（水） 10時00分～ 場所：半田市役所 会議室 303</p> <p>2月定例教育委員会 日時：2月24日（金）10時00分～ 場所：半田市役所 3階 会議室 305</p> <p>3月臨時教育委員会 日時：3月3日（金）14時00分～ 場所：半田市役所 4階 庁議室</p> <p>3月定例教育委員会 日時：3月28日（火）10時00分～ 場所：半田市役所 4階 庁議室</p> <p>(教育長)</p> <p>12月定例教育委員会を終了する。</p>

〈 閉会 12時00分 〉